

## 遺族大会に初めて参加して

土佐清水市 田中 千盛

『昭和十二年十二月十五日 支那事変に際し軍属として御用船を生駒丸機関長を命ぜられ各地を転戦 同十三年十月十七日湖北省大家鎮に於いて戦死を遂ぐ功に依り勲七等を賜わる 行年五十三歳』

これは、私（68才）の祖父、田中類次郎の忠魂墓地に立っていたお墓に刻み込まれた碑文です。

そして今は祖母 伊勢代の名前を並べて田中家の墓地に静かにあります。

この度私は、7月16日の遺族大会に初めて孫として参加し、次のような

感想を抱きました。

短文要約をお許し願います。

- ・戦争の記憶を語り継ぐ、後継者育成に向けた、大石綏子会長の思いの強さ
- ・遺児の方々の高齢化と世代亡き後の記憶の継承に向けた次世代への期待
- ・今後も遺族として、平和への取り組み・会活動の継続の重要性
- ・孫、ひ孫の遺族会への参加と活動の方向性などの課題

・戦争を知らない世代への同世代・若い世代としてのアピールの方法

私はふと、祖父母と父母は今何を思うのだろうかかと合掌する次第です。

※平成29年10月高知県遺族会報掲載